

経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道今金町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	8	-	ド訓	救
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
5,356	4,003	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

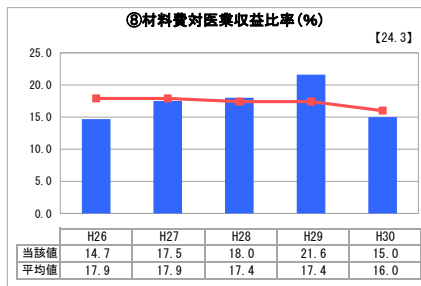
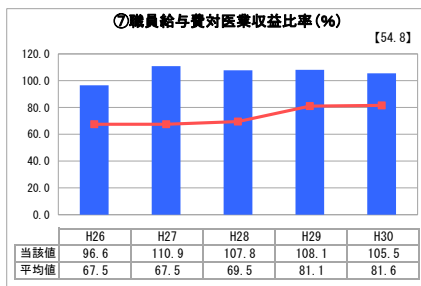
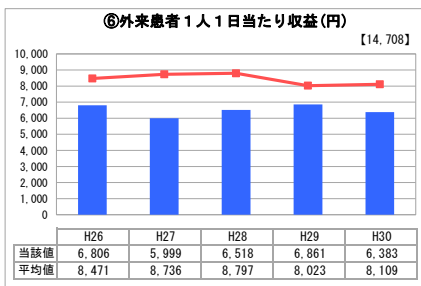
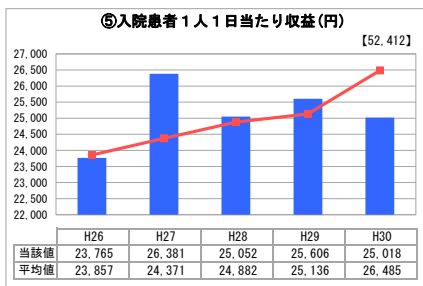
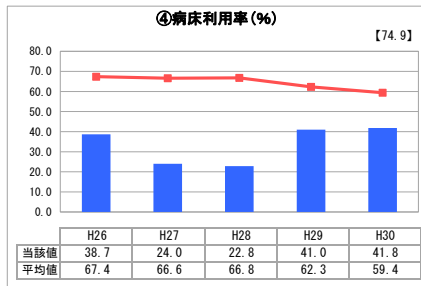
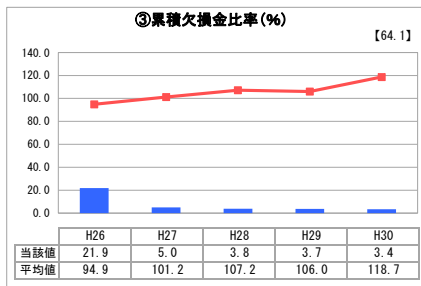
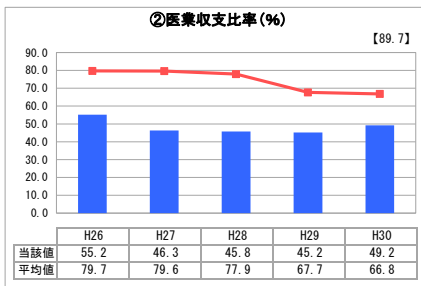
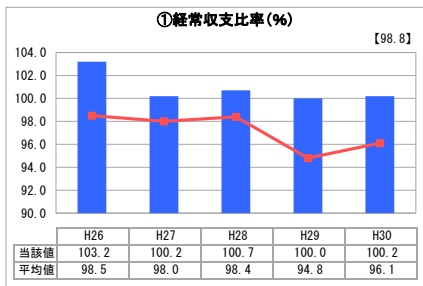
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
33	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	33
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
23	-	23

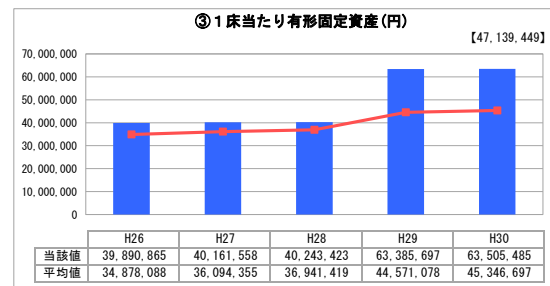
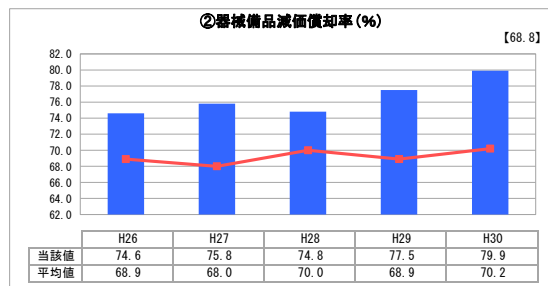
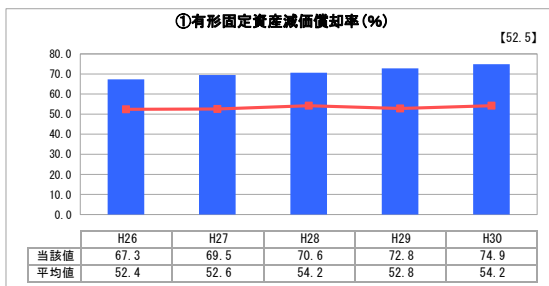
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割

町内唯一の病院として救急患者及び入院患者の受け入れ体制を整え、患者が病氣と共存しながら生活の質の維持・向上を目指し、住み慣れた地域や自宅で安心して生活ができるような医療を提供する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率は平成28年度末に療養病床を廃止したことにより上がっているが、依然として類似病院平均値を下回っている。
また、前年と比較して医業収益及び医業費用ともに減少しているため、医業収支比率が停滞しており、特に外来収益の減少が大きな要因となっている。

2. 老朽化の状況について

病院建物本体が建設後35年以上が経過し、耐用年数が近づいている。
医師住宅については、4戸のうち2戸が平成18年、残りの2戸が平成24年の建設となっている。
大型の医療機器についても耐用年数を超えているものが多数見られ、更新の時期が近づいている。

全体総括

医業収益の減少によって一般会計からの繰入金に依存している状況が続いている。この要因は人口減少による患者の絶対数の減及び患者が他の医療機関に流出していることであると想定される。
今後においては、常勤医師の確保を最優先事項としながら、地域包括ケアシステムの構築等による医療機能の連携、発展に努めるとともに医業収益の減額に応じた経費の削減を図り、病院経営の改善を行う。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。